

かく が ちゅう れん の ひ  
⑥ 鶴 駕 駐 輦 碑



明治40（1907）年5月28日大正天皇が皇太子であったころ山陰を巡幸され出雲から大田への途次、朝山の峠で馬車（鶴駕）を駐め休憩された処です。

村では下津戸に奉迎門を作り全村民でお迎えしましたが、行列は馬車5台、人力車150台、馬20頭、従者90人余の大掛かりなもので、12人の近衛兵に護衛され錦絵のように美しい馬車を波根に向かってお送りしました。

記念碑の文字は、日本海海戦の司令 東郷平八郎元帥の筆で、刻字工は波根五島又兵衛で、大正3（1914）年に建てられました。

石碑の位置

